学校番号	3003

令和８年度　自立支援コース

教科	(学) 自立学科	科目	(学) 自立学習	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自立学習では挨拶や報告などの基本行動を大切にします。就労を見据えて取り組む模擬職場実習に向け、毎日の活動で自分の気持ちを相手に伝え、良好な人間関係を築く力を育てます。個人の活動では目標を意識して粘り強く取り組み、集団の活動では互いに協力しながら社会で必要な力を磨き、実習での学びや将来のよりよい自立へとつなげていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・適切な挨拶や、確実な報告・連絡・相談の仕方を身に付け、実践している。
・日常の会話ややり取りにおいて、状況に応じた適切な返答ができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・学校生活における日々の活動を内省し、自らの取り組みを振り返ることができる。
・自分の気持ちや考えを整理し、状況や相手に応じて適切に伝えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・個人の活動において、自ら設定した目標に向けて粘り強く前向きに取り組もうとしている。
・集団活動において、他者の立場や意見を尊重し、互いに協力しながら主体的に取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	あいさつや報告・連絡・相談など、就労を見据えた基本行動の重要性を理解し、状況に応じて自ら適切に行うことができる。	学校生活や毎日の活動を客観的に振り返り、自分の気持ちや考えを整理した上で、相手や状況に応じて適切に伝えることができる。	個人の活動において自ら設定した目標を意識して粘り強く取り組み、集団の活動においては他者の立場や意見を尊重し、互いに協力しながら主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	学校生活の基礎を身に付ける	学校生活や今後の実習の基本となる挨拶、返事、報告･連絡･相談の適切な仕方を実践的に学ぶ。日々の活動を客観的に振り返り、自分の気持ちや考えを整理して相手に分かりやすく伝える練習を行う。個人活動では、自ら設定した目標を意識して粘り強く取り組む態度を身に付ける。	a: あいさつや返事、報告・連絡・相談を、場面に応じて行うことができる。 b: 学校生活を振り返り、自分の気持ちや考えを相手に分かりやすく伝えることができる。 c: 個人での活動において、目標を意識しながら前向きに取り組もうとしている。	日常場面での行動観察、あいさつ･返事･報告等の実施状況	振り返り記録、面談時の発言	授業中の取り組み、学習記録、活動への参加状況
2学期	人との関わり方を深める	集団での活動を通して、相手の意見を尊重し、状況に応じて適切な返答や相談ができるようにする。自分の気持ちや考えを、丁寧な言葉で整理して伝える練習を行う。仲間と互いに協力しながら活動することで、よりよい人間関係を築く力を学ぶ。	a: 会話や集団活動の中で、適切に返事をしたり、必要なときに相談したりすることができる。 b: 相手や場面に応じて、自分の気持ちや考えを分かりやすく伝えることができる。 c: 集団での活動において、他者と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	グループ活動での発言や応答、指示理解の様子、行動観察	活動後の振り返りカード、発表、自己評価シート	協力場面での様子、役割への取り組み、継続的な参加状況
3学期	学びを振り返り、今後につなげる	2年間の学習を客観的に振り返り、自身の成長や実習への課題を明確にする。これまで高めたコミュニケーションの力を、次年度の職場実習や進路選択にどう生かすかを考える。個人･集団の両面で、目標に向け粘り強く主体的行動を継続する力をまとめる。	a: これまで学んだあいさつ、返事、報告・連絡・相談を、安定して行うことができる。 b: ２年間の学校生活を振り返り、自分の成長や課題を整理して表現することができる。 c: これまでの学習を生かし、今後も前向きに取り組もうとする姿勢が見られる。	日常的な行動観察、実技的なやり取り、学習記録	年間の振り返りシート、発表、面談での受け答え	1年間の取り組み状況、提出物、活動参加の継続性、自己評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度